

科目名	専門演習 I Seminar I						
科目担当者	内田 保雄 UCHIDA Yasuo						
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>本演習では、テーマを決めてミニ研究を行い、研究を行う上で必要となる素養を養う。</p> <p>テーマ：中小企業向け DX モデルの検討 中小企業に適応的な DX (デジタルトランスフォーメーション) 導入モデルについて検討し、プロトタイプを構築する。</p>						
授業の到達目標	<p>① 関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができる。</p> <p>② 関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができる。</p> <p>③ 研究成果の資料を作成して発表し、説明・説得することができる。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス		16	ミニ研究 (5)		
	2	研究計画の策定		17	ミニ研究 (6)		
	3	先行研究の調査 (1)		18	ミニ研究 (7)		
	4	先行研究の調査 (2)		19	ミニ研究 (8)		
	5	先行研究の調査 (3)		20	ミニ研究 (9)		
	6	先行研究のまとめ		21	ミニ研究 (10)		
	7	報告会・討議 (1)		22	ミニ研究 (11)		
	8	基盤技術等の調査 (1)		23	報告会・討議 (2)		
	9	基盤技術等の調査 (2)		24	ミニ研究 (12)		
	10	ミニ研究 (1)		25	ミニ研究 (13)		
	11	ミニ研究 (2)		26	ミニ研究 (14)		
	12	ミニ研究 (3)		27	ミニ論文の執筆 (1)		
	13	ミニ研究 (4)		28	ミニ論文の執筆 (2)		
	14	中間まとめ		29	報告資料の作成		
	15	中間報告会・討議		30	最終報告会		
授業外学修 (事前学修)	毎回、各回で必要となる情報を収集しておく (毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回、問題点や課題を洗い出し考察しておく (毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	ミニ論文 報告会での発表・討議				50%	①、②	
				50%	①、②、③		
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	特に指定しない。適宜資料等を提示する。						
参考文献	適宜紹介する。						
その他	<p><注意事項>出席時間数が授業時間数の 3 分の 2 以上の場合に、成績評価及び単位付与の判定を受ける資格を付与する。</p> <p><どのような学生の受講が望ましいか>プログラミングの能力を伸ばしたい学生。DX に興味がある学生。データサイエンスに関する知識を身につけたい学生。</p>						